

完全予約制診療科一覧

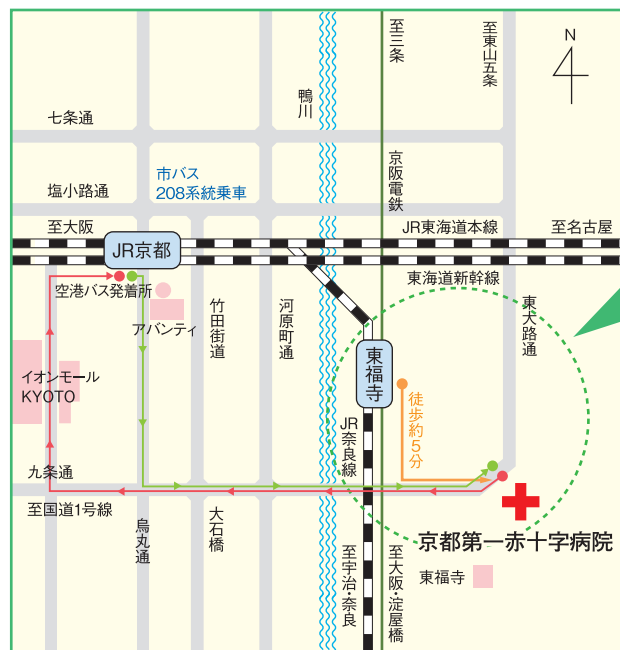
- リウマチ内科
- 循環器内科
- 泌尿器科
- 消化器外科
- 小児外科
- 整形外科
- 放射線治療科
- 糖尿病・内分泌内科
- 脳神経・脳卒中科
- 腎臓内科・腎不全科
- 肝胆膵外科
- 呼吸器外科
- 脳神経外科
- 婦人科（産科は除く）
- 血液内科
- 呼吸器内科
- 眼科
- 乳腺外科
- 心臓血管外科
- 心療内科
- 歯科口腔外科

上記診療科では、紹介患者様をより優先して診療できるよう完全予約制を設けております。
医療機関からのFAX予約申込にご協力をお願い申し上げます。



Access to Japanese Red Cross Kyoto Daiichi Hospital

当院へのアクセス



電車をご利用の場合

JR奈良線、京阪電鉄…「東福寺」駅下車、徒歩5分 市バス202、207、208系統「東福寺」バス停で下車

車をご利用の場合

【奈良、大阪方面から】… 京都南IC出口、国道1号線を北へ約2.5キロ京阪国道口を東（右折）へ、九条通りを約2.5キロ

【山科、大津方面から】… 国道1号線を西進、東山五条交差点を南（左折）へ、東大路通りを約2キロ

【京都駅付近から】…… 竹田街道を南へ約500メートル、大石橋交差点を東（左折）へ九条通りを約500メートル

無料シャトルタクシー運行のご案内【JR京都駅八条口⇄病院（地下鉄九条駅経由）】

	八条口発 病院行き	病院発 八条口行き
始発便	7:45 次発 8:10、以降30分間隔で運行	9:00 以降30分間隔で運行
最終便	16:10	16:00

※12:40八条口発の便は運行しておりません。

※12:30病院発の便は運行しておりません。

※交通状況により時刻に遅れが生じる場合があります。
※運行は平日のみとなります。土・日・祝日等病院の休診日は運行いたしません。
※定員9名のため満員の場合は次の便をご利用ください。



京都第一赤十字病院

人間を救うのは、人間だ。Our world.Your move.



京都第一赤だより



人道と奉仕の赤十字精神に基づき、
患者さまにとって安心できる
適切な医療を行ないます。

夏号

2022年8月発行
vol. 84

Contents

- 就任のご挨拶 2, 3
- 耳鼻咽喉科から名称変更のお知らせ 4, 5
- 眼科のご紹介 6, 7
- 完全予約制診療科一覧 8

待望のWith Corona 夏の訪れ

ロシアによるウクライナ侵攻など心を痛めるニュースが多い中、夏の訪れとともにWith Coronaの足音が大きく聞こえてきました。患者発生はまだ高止まりを続けていますが、重症者や死者数は明らかに減少しており、市民生活も国内外で規制が大きく緩和されつつあります。COVID-19を5類感染症に変更するという手続きこそ棚上げされていますが、動きだした社会の潮流は止まりそうもなく、祇園界限が観光客であふれるのも時間の問題かもしれません。当院の診療体制も、専用病床の確保など一部でCOVID-19の影響は残るものの一般診療機能はほ

ぼパンデミック前に戻っています。そんな中で、完全予約制の拡大や病診連携室の機能強化（対応時間の延長）による地域医療支援病院としての取り組みを進めています。また、働き方改革を進めつつ、地域の医療体制をどのように維持していくかは、医師会の先生方とともに取り組むべき課題です。さらに、立ち遅れが指摘されるIT活用の推進、しばし休眠していた病院の国際化などにも継続して取り組まねばなりません。2年ぶりの「コロナのない夏」、「ビアパーティーで盛り上がる夏」となることを願いながら、暑い夏に、熱く仕事に取り組んでまいります。

副院長 福田 直

就任のご挨拶

greeting 01



糖尿病・内分泌内科
副部長

浅野 麻衣

この度、2022年7月1日付で糖尿病・内分泌内科 副部長を拝命いたしました浅野麻衣と申します。

京都府立医科大学を卒業し、旧第一内科に入局後、2006年の大学院入学時より内分泌・糖尿病・代謝内科研究室に所属しております。大学院卒業後は、縁あって東京女子医科大学内分泌内科に国内留学させて頂き、その後、母校の内分泌・糖尿病・代謝内科で約12年間、主に内分泌疾患領域の臨床・教育・研究に携わってまいりました。

本年4月1日より当院糖尿病・内分泌内科で勤務し、あらためて急性期病院としての当院の担う役割の大きさを肌で感じております。その中で

のような貢献ができるのかを考えながら、誠実に努めてまいる所存です。今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【卒業年】 平成12年 【専門領域】 内分泌疾患

【認定医・専門医等資格名】
医学博士
日本内科学会 認定内科医・総合内科専門医
日本内分泌学会 内分泌・代謝専門医・指導医
日本甲状腺学会 認定専門医
京都府立医科大学 内分泌・代謝内科 客員講師

Mai Asano

greeting 02



血液内科
副部長

古林 勉

この度、血液内科副部長を拝命いたしました古林 勉と申します。2002年に京都府立医科大学を卒業後、同大学病院、関連病院での研修を経て、2007年に同大学血液内科に入局しました。以後15年間大学病院で勤務し、2022年4月より当院血液内科に赴任することとなりました。

当院は府内でも随一の症例数を誇る血液診療施設であり、血液がんに対する化学療法、造血幹細胞移植に加え、赤血球疾患や凝固異常症など幅広く血液疾患診療を行っています。これまで培った経験を活かし、患者さんの病状と生活状況にあわせた最適な診療を心掛けたいと思い

ます。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

【卒業年】 平成14年 【専門領域】 血液疾患全般

【認定医・専門医等資格名】
医学博士
日本内科学会総合内科専門医・指導医
日本血液学会認定血液専門医・指導医
日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医・指導医
日本造血・免疫細胞療法学会造血細胞移植認定医
細胞治療認定管理師

Tsutomu Kobayashi

greeting 03



泌尿器科
副部長

清水 輝記

この度泌尿器科副部長職を拝命致しました。小生は2004年に京都府立医科大学を卒業後、初期臨床研修（スーパーローテート）の初年度を大阪府済生会吹田病院で修了し、2006年に京都府立医科大学泌尿器科へ入局しました。大学病院、医局関連病院での勤務の後、2014年に大学院博士課程へ進学、課程修了しました。その後、直近では2017年9月よりパナソニック松下記念病院、2020年4月より京都府立医科大学病院での勤務を経て、2022年4月より当院でお世話になっております。赤十字病院での勤務は第一、第二ともに経験がなく初めてでありますが、自分自身の臨床経験の更なる向上を目指すには当院は最適の環境であると確信しております。 医学の知識がアップデートされるのは目まぐるしいと実感し、古い教科書の医学知識のままではすぐに取り残されてしまいますので、日々の日常診療で患者様に最適な医療を提供できるよう、自身が自然淘汰されぬように

アップデートし、研鑽を続けていければと思います。泌尿器科は、高齢化がすすむ中で、今後も需要が多い有望な診療科であると感じ、入局しました。今でもそう感じますし、これまで以上に高いモチベーションを保って日々の診療をおこなえればと思います。まだまだ不慣れでありますが日頃より前方連携ならびに後方連携いただいております地域の先生方にも信頼頂けるよう頑張っておりますので、皆様のご指導ご鞭撻のほど今後とも宜しくお願い致します。

【卒業年】 平成16年 【専門領域】 泌尿器癌（特に尿路上皮癌）

【認定医・専門等資格名】
医学博士（京都府立医科大学）
日本泌尿器科学会認定専門医・指導医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医
難病指定医
ロボット支援手術術者認定医

Teruki Shimizu



「話す・食べる」を守る頭頸部外科

～耳鼻咽喉科から耳鼻咽喉科・頭頸部外科へ名称変更しました～

この度、京都第一赤十字病院耳鼻咽喉科は「耳鼻咽喉科・頭頸部外科」と科名を変更致しました。耳鼻咽喉科は耳・鼻・喉頭など幅広い領域を扱う分野ですが、その中でも私は口腔癌・咽喉頭癌・甲状腺癌などの頭頸部癌を主に診療しております。頭頸部癌は高齢化に伴い近年増加傾向にあり、日本で年間約3万人が罹患し、当院でも毎年100人以上の新規患者さんを診察しています。

頭頸部癌はのどや口にできるので、進行すると食事や発声が困難となり、患者さんのQOLを損ないます。私が医者となった10数年前、進行した頭頸部癌に対してはまず咽頭や喉頭の摘出を含めた拡大切除を行い、術後放射線や化学療法を行うような治療が一般的であり、癌は治ってもQOLが著しく低下する患者さんを多く見ました。しかし近年では、化学療法や放射線の組み合わせにより特に喉頭を含めた拡大手術を避ける、「喉頭温存治療」が主流となりました。当院でも放射線治療科などと連携し、なるべく患者さんの

QOLを維持しながら癌を治す治療を目指しています。また放射線治療の効きにくい舌癌などで舌の拡大切除を行った場合でも、形成外科と連携し他部位から筋や皮膚を移植して機能を維持する「再建手術」を行い、術後はリハビリで嚥下や発声機能を少しでも改善し、「話す・食べる」という人間の根幹的な機能を残すことを第一に考えています。

当科は現在常勤医5人、非常勤医2人と人員に恵まれた体制で診療を行っており、どの医師も熱いハートを持ち、手術好きという共通点があり、忙しいながらも日々充実した毎日を過ごしています。頭頸部領域でお困りの方がおられましたら、是非当科への紹介を検討頂ければと思います。



耳鼻咽喉科・頭頸部外科
医長

森 大地



写真 耳鼻咽喉科・頭頸部外科スタッフ一同

令和3年度 当科での主な頭頸部手術

甲状腺手術	30
副甲状腺手術	4
唾液腺手術	11
舌、口腔、咽頭悪性腫瘍手術	29
喉頭悪性腫瘍手術(全摘)	2
頸部郭清術	7
頸部嚢胞摘出術	2
喉頭微細手術	28
嚥下機能改善・誤嚥防止手術	9
気管切開術	26
扁桃摘出術・アデノイド切除術	121

耳鼻咽喉科・頭頸部外科 診察出番表

	月	火	水	木	金
新患	山本	担当医	森	休診	毛利



眼科の ご紹介

眼科部長
小泉 閑



眼科スタッフ（前列：医師、左から梶原、小泉、小橋、長野）

いつも貴重な症例を当科にご紹介頂き深謝申し上げます。

当科スタッフは、常時勤務が眼科医師4名（常勤医師3名、専攻医1名）、視能訓練士3名、看護師2名、ドクタークラーク1名で、さらに非常勤医師として未熟児網膜症担当の前部長池部医師、斜視専門外来担当の中村医師を加えて、日々の診療にあたっております。

まず第一に、当科の目標は「まじめな医療の提供」です。すなわち、地域の中核病院の眼科として求められる標準的な診療を行うこと、進歩の早い眼

科領域でも医療機器、設備を適切に更新していること、各科との連携を密にとり総合的に最適な治療が行えるよう努めること、手術治療に際しては糖尿病・透析・心疾患・認知症などの全身合併症がある症例でも適切な管理のもとで安全に行うこと、を重視しております。

当科での各種手術におきましては、白内障手術では片眼手術のみの場合で日帰り入院か1泊入院、両眼手術の場合で3泊4日入院となります。一方、網膜硝子体手術、緑内障手術では数日～10日入院、斜視、眼瞼手術では日帰り入院か1泊入院での対応

病診予約眼科担当表

	月	火	水	木	金
新患	梶原 長野	小泉 小橋	小泉 梶原	小泉 長野	梶原 小橋

となります。現在もwithコロナの状況ですので、毎回入院時にはcovid 19の抗原検査が必要です。入院中のご家族の面会も制限されており、入院生活の快適性はコロナ以前よりも損なわれますことから、なるべく短い日数で退院して頂けますようスタッフ一同努力しております。

外来診療のトピックとしましては、広角眼底カメラ、Zeiss Clarus 700の導入が挙げられます。無散瞳であっても眼底の広い範囲が記録できますため、診療情報の記録が確実にでき、過去所見との比較が確実に可能となりました。来るべきAI診断の時代

にも適合性が高く、非常に有益な機械と考えます。

外来患者数は70～100人程で、1時間前後の待ち時間がかかることがしばしばございますが、丁寧な診療を心がけておりますので、何卒ご容赦ください。

なお、昨年度から完全予約制とさせて頂いておりますが、急ぐ症例の際には、当科まで直接ご連絡、ご相談頂けましたら幸いです。

これからも精一杯努力致しますので、今後とも何卒よろしくお願い致します。

表1 年度別手術件数の推移

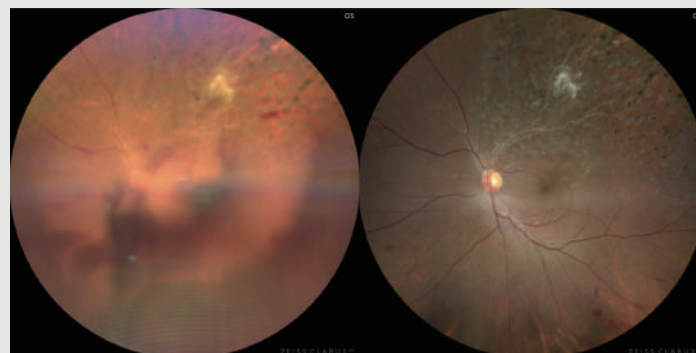
	2019年	2020年	2021年
白内障	577	530	682
硝子体	1	29	36
緑内障	3	5	9
斜視	3	5	4
眼瞼・涙器・その他	19	21	31
合計	603	590	762

図1 第一赤十字病院眼科の特徴

- ◆白内障手術
超高齢、認知症、高度白内障、全身合併症有りなどの難症例含む
- ◆緑内障手術
低侵襲緑内障手術
- ◆外眼部手術
眼瞼下垂、眼瞼内反症など
- ◆網膜硝子体手術
増殖糖尿病網膜症、裂孔原性網膜剥離、黄斑円孔、網膜前膜など
- ◆未熟児網膜症
NICUでのレーザー光凝固治療



図2 広角眼底カメラでの眼底写真



網膜静脈分枝閉塞症からの硝子体出血（術前後）